富士市立神戸小学校

学校便り 神戸っ子

令和２年２月10日

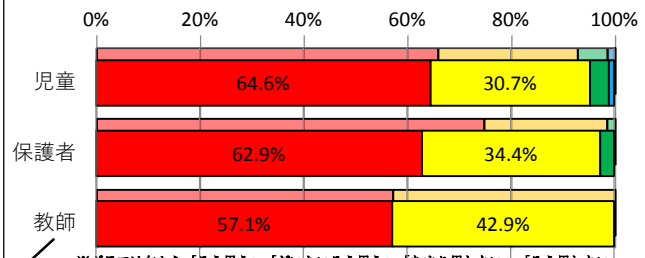
2月号その2 後期学校評価報告

学校教育目標　「つながろう　やりぬこう」

重点目標　「すすんで　やる子」

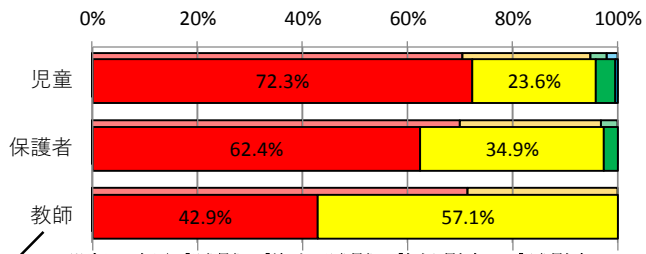
※前期グラフと重ねてあります。

学校生活が楽しい



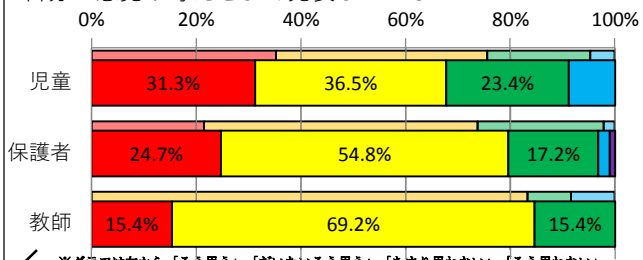
楽しいことだけでなく、苦しいことやつらいことも経験する中で、よりたくましく成長していくものだと思います。「楽しい」＝「楽（らく）」ではなく、困難ことを乗り越えた後に、充実感（真の楽しさ）があることとも学んでいけるように、これからも支援していきたいと思います。

みんなで何かをするのが楽しい



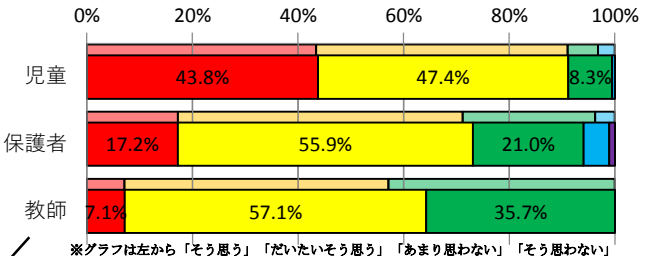
10月の神戸大運動会は、まさに「みんなで何かをする楽しさ」を経験できた貴重な学習の場となりました。さらに12月のふれあい祭りもそれまでの学習を生かし、各クラスで協力できた意味のある行事となりました。

自分の意見や考えをよく発表している



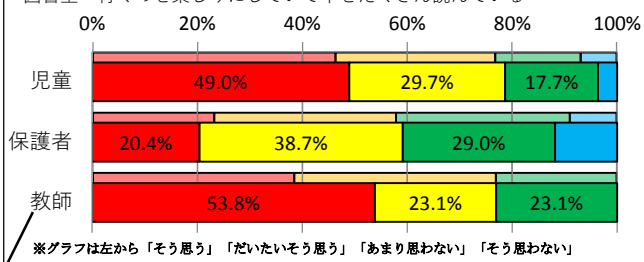
自分からすすんで発表する子は、学年が上がるにつれて限られる傾向にありますが、グループでの意見交換や教師の意図的な指名により、手が挙がらなくても意見を言えるような場を大事にしています。まずは課題に対して考え、自分の意見をもつことが大切だと考えます。

友達の意見や考えをしっかり聞いている



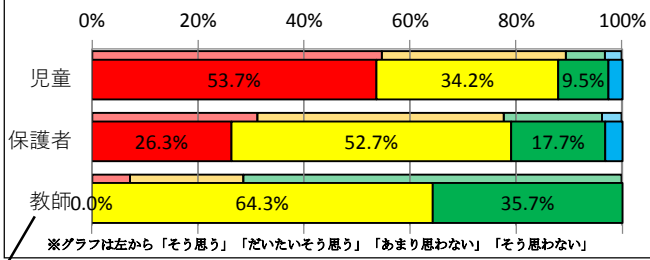
発言する子の方を向いて聞けるクラスが増えてきました。また、発言にうなずいたり、同意したりするような反応も見られるクラスもあり、「温かい聴き方」が少しずつできるようになってきました。さらに共感的な聴き方を育てたいと思います。

図書室へ行くのを楽しみにしていて本をたくさん読んでいる



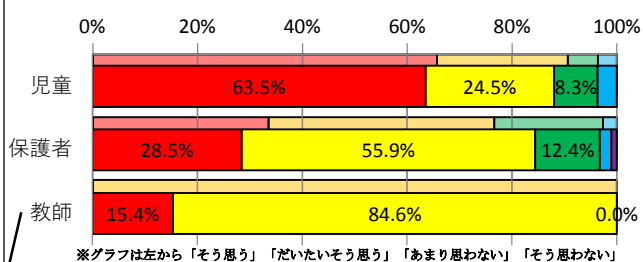
PISA調査結果から、日本の高校生の読解力低下が心配されています。読書習慣の差によって、読解力にも差が出るという調査報告もありました。子どもたちの読書への意識が前期より高まったことが、今後の読書習慣につながることを期待しています。

学校でも地域でもすすんであいさつする



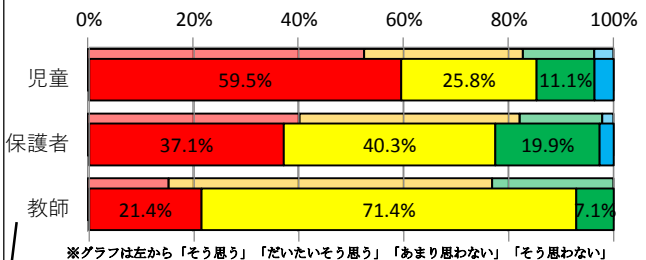
校内では比較的元気なあいさつができますが、校外に出ると保護者や地域の方から声を掛けられても、元気よくあいさつができないことが実態です。声かけ事犯の心配もあるためか、知らない人からの声掛けに警戒してしまうなど、難しい問題ですが、子どもが安心してあいさつを返せるような信頼関係づくりにご協力願います。

家庭学習をきちんとしている



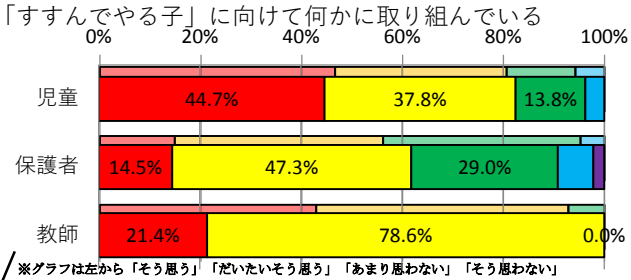
自分から計画的に家庭学習に取り組める子は、学力が向上するという調査結果も報告されています。また、内発的動機付け（目的が自分の中にあること）による家庭学習は、継続につながります。興味があることから始め、苦手なことの克服まで、自分で決めて学べることを期待します。

目標をもって運動したり、外で元気よく遊んだりしている



持久走大会で目標とした順位になれなくて涙を流した子が何人かいました。練習が足りなかったことを反省し、次回への意欲づけになったと思います。12月以降は、学校全体として長縄（８の字）に取り組んでいます。朝や休み時間に、クラスで目標に向けて練習する姿が見られるようになりました。

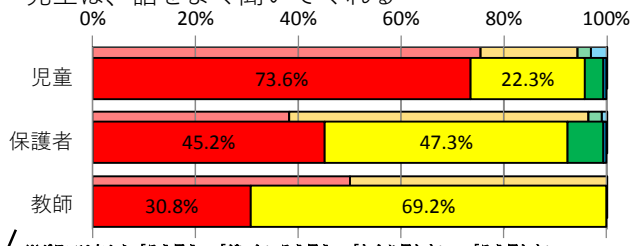
「すすんでやる子」に向けて何かに取り組んでいる



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

子どもによっては、得意なものには積極的になれるが、苦手なことに対しては消極的になってしまうことがあります。「すすんで」の部分に個人差はあると思いますが、少しでも前向きに取り組む姿が見られたら、認め励ましていきたいと思います。

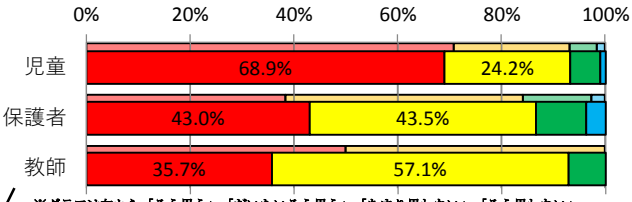
先生は、話をよく聞いてくれる



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

年に３回の教育相談期間を設け、子どもと担任が１対１で話ができるようにしています。まずは、子どもと担任との信頼関係を築き、何でも相談できる体制づくりを大事にしていきたいと思います。また、担任でなくても気軽に相談できる教員となれるように心がけていきたいと思います。

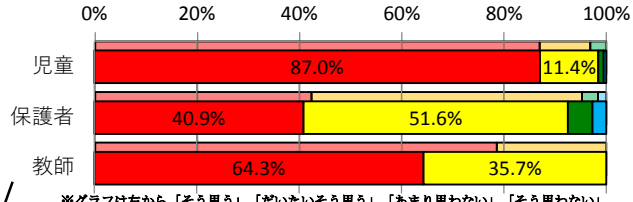
先生は、自分ががんばったことをよくほめてくれる



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

学級・学年・学校便りで、子どもたちのよい表れや頑張りをできるだけ伝えていくように努力してきました。なかなか全員を紹介することはできませんが、できるだけ多くの子のよさや頑張りを認め、褒める場面を増やしていきたいと思います。また、後期の「あらわれ」でも一人一人の頑張りを伝えていきます。

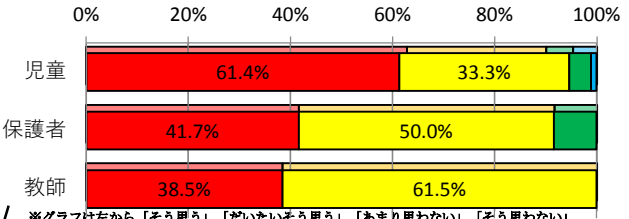
先生は、学校にいるとき安全にすごせるように気をつけてくれている



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

子どもの安全を最優先に考え、日頃から危機管理において細心の注意を払うように心がけてきました。また、「自分の命は自分で守る」という安全意識向上のための安全教育や指導も継続しています。自他ともに安全に過ごせるように、今後も安全指導に力を入れていきたいと思います。

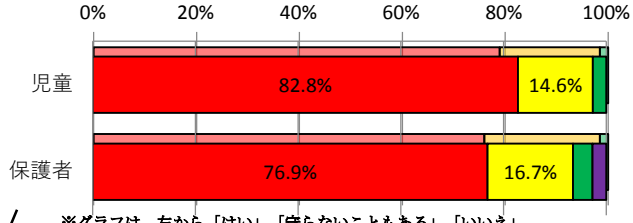
授業は楽しくわかりやすい。



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」

「楽しく分かりやすい」授業というのは、決して課題が簡単ですぐに解決できてしまうものではないと考えています。学習内容や教材に対して主体的に関わり、試行錯誤を繰り返しながら、自らの解答にたどり着くことで、学びの実感が伴います。さらに深く追究していこうという意欲につながります。今後もこのような授業を目指していきたいと思います。

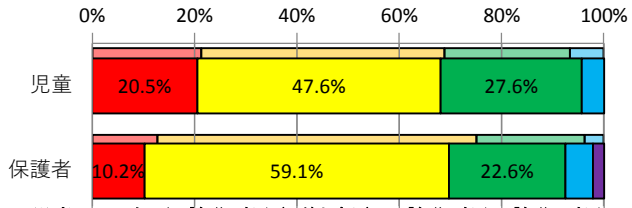
学校のきまりをきちんと守っていますか



※グラフは、左から「はい」「守らないこともある」「いいえ」

４月に全家庭に配付した「よくわかる神戸っ子の生活（保存版）」に再度目を通して、子どもだけでなく保護者の皆様にも約束やきまり等を確認していただきたいと思います。その中で、下校後の帰宅時刻に関する記述がなかったため、検討し内容についての見直しもしていきたいと思います。

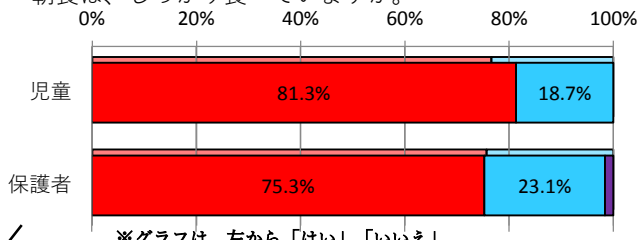
何時頃寝ていますか



※グラフは、左から「午後8時頃（以前も含む）」「午後9時頃」「午後10時頃」「午後11頃」

テレビ、ゲーム、インターネットなど、就寝時刻が遅くなる原因が子どもたちの身近にある環境になりました。ノーメディアデーと併せて、各メディアとの付き合い方や利用仕方のについて、各家庭でお子さんと相談しながら生活時間を見直すことを推奨します。

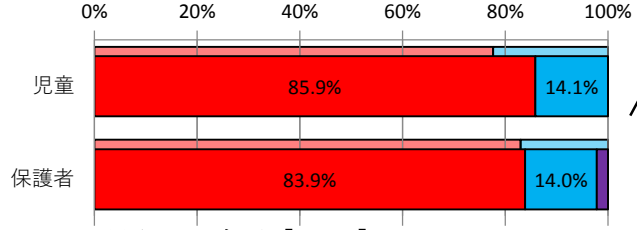
朝食は、しっかり食べていますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

「いいえ」と答えた児童、保護者が２割近くいることが気になるところです。全く食べていない子はいないと思いますが、栄養に偏りがあったり、少食であったり、児童の食に関する課題が見えてくるようです。今後も学校と家庭が連携しながら、食育を行っていく必要を感じます。

学校や友だちの話を家でよくしますか。



※グラフは、左から「はい」「いいえ」

前期より学校や友だちについての会話が、多くなっていることに安心しました。その内容については、嫌だったことや悲しかったことも含まれると思いますが、それを打ち明けられる存在が家族にいることは、子どもたちの安心や、問題の早期解決にもつながります。中には自分から言い出せない児童もいるかもしれませんが、表情を見て「今日は何か嫌な事があった？」あるいは「何か嬉しそうだけど、いいことあった？」など、一声かけていただくことが大事だと思います。よろしくお願いします。

➢ 子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者より）

①学習・運動に関する内容

- ✎ 自主勉強をする時間がかなり増えた。結果もついてきているので、やる気がかなり上がっている。先生がよく見てくれているので、のびのびと成長していると思う。
- ✎ 日記や作文の宿題も出してほしい。
- ✎ 放課後GoDo教室を4，5，6年生でも継続していただきたい。
- ✎ １～２クラスという環境で競争心、向上心が育つか心配。
- ✎ 宿題丸付けボランティアを保護者から募り、担任の先生の負担を減らし漢字の直しがしっかりできるようにしてほしい。

- ✎ 子どもの自主的な学習と教員の丁寧な支援により、学習の成果が表れることが分かりました。今後も子どもたちの主体的な学びを引き出せるように課題等の工夫（日記・作文の課題も含めて）をしていきたいと思います。
- ✎ 放課後学習支援については、富士市の支援事業として各校で行われている活動であり、４，５，６年生は、６校時までの授業が多いため実施は難しいところです。３年生の段階で学習の基礎を定着させ、その後の学習に生かしていけるように、今後の放課後学習支援を充実させていきたいと思います。
- ✎ 他人との競争も大事ですが、自分自身の中に弱い自分やすぐにあきらめてしまう自分を探し、その自分に勝てるような競争心を育て、向上心につなげていくことも小規模校の課題だと思います。
- ✎ 宿題丸付けボランティアについては、学級担任のニーズにより募集について検討していきたいと思います。購買ボランティアも含め、教員をサポートしていただく保護者の皆さんの協力は大変ありがたいと思います。

②生活指導に関する内容

- ✎ とても丁寧な言葉遣いをしっかりあいさつができ、心優しい素直な子どもたちだと思う。
- ✎ 丁寧な言葉遣いとしっかりあいさつができる心優しい素直な子どもたちである。
- ✎ 元気にあいさつができる習慣がつくとよい。
- ✎ 挨拶を重点的に取り組むとのことだけど、子どもたちがどのように変化していくか楽しみ。
- ✎ あいさつは大事だと思う。登下校時に地域の方々へのあいさつや子ども同士が互いにあいさつができるようになるとよい。
- ✎ 前期に比べるとあいさつを返してくれる子が増えて嬉しい。
- ✎ 学校のきまりについて具体的に書いた書面などがあるか。見逃していたら申し訳ない。
- ✎ 下校時刻を毎日はっきりしてほしい。
- ✎ 17時には家に帰っていましょうという校外での決まりを守らずに、17時の広報が流れてから家に帰る子がいる。17時まで遊んでもよいと思っている子がいる。冬場は真っ暗なので、学校から子どもたちに声かけをしてもらえると助かる。
- ✎ 下校後は、自宅から出ないことが多い。
- ✎ 心の優しいのびのびとした子どもたちに感激している。
- ✎ 毎日、楽しく安心して学校へ行くことができている。
- ✎ 1人でいる友達を見かけたら、声を掛け合って一人ぼっちにならないように、進んで声をかけている子どもたちになってほしい。
- ✎ 女の子のちょっとしたトラブルを聞くことがある。大きなトラブルになる前に当事者が先生に伝えられるとよい。

- ✎ 言葉遣いやあいさつに関するご意見をたくさんいただきました。それらを読む限りでも、特にあいさつに関しては本校の課題となります。礼儀やマナーとしてあいさつの大切さを教えていくことも大切ですが、心が開放されていないと、あいさつの声が出にくいと思います。お互いに信頼関係を築き、あいさつの声が響く学校になっていくことを目標としています。
- ✎ 学校のきまりについては、４月に配付した「よくわかる神戸っ子の生活（保存版）」にて確認をしていただくことができます。もしも紛失した際には、学校に予備がありますのでいつでも申し出てください。
- ✎ 下校時刻については、普通日課の場合は５校時14:45、６校時15:30となっていますが、学年やクラスの実態によって多少遅れることをご了承願います。
- ✎ 下校後の帰宅時刻については、冬場は時刻に関係なく暗くなる前には家に帰っているように指導していきたいと思います。ご家庭でも帰宅時刻に関しての約束を再度確認していただき、子どもたちの意識を高めていただきたいと思います。
- ✎ 子ども同士のトラブルについては、小さなうちに対応することが大切になります。子どもが自分から相談できない場合は、保護者の方を通しての相談をいつでも受けますので、遠慮なくご相談ください。

③教育課程に関する内容

- ✎ 個別登校で、近所の方や交通指導員さんに、「皆と一緒に行けないのか？」というようなことを言われる。個別登校になって朝の時間を有効に使っているのに、自分たちが悪いような気がして腑に落ちない気持ちもあるようだ。肩身の狭い思いをするようなら集団登校を徹底すればよい。
- ✎ 個別登校についてバラバラ出歩くと、車が通るのに危険なときがあり心配。走ってしまうこともあり、リーダーがいないと歯止めがきかない。安全に通学することを第一に考えてほしい。
- ✎ 学校全体でみんなが1つのことに取り組めることができたら、クラスがもっと一致団結できるようになると思う。
- ✎ 運動会で勝敗をつけないのであれば、持久走大会も順位をつけるのはやめた方がよい。
- ✎ 宿題丸付けボランティアを保護者から募り、担任の先生の負担を減らし漢字の直しがしっかりできるようにしてほしい。
- ✎ 低学年の子が地域の人に気持ちよく挨拶していたのに、その人はスーっと通りすぎてしまった。
- ✎ 地域での活動、イベントなどに積極的に参加する声かけがあった方がよい。先日実施された地区防災訓練に小学生の姿が少ないのが残念に思えた。

- ✎ 個別登校については、学校からの距離によってその意義が違ってくるようです。安全面から考えると、遠い地区は集団で登校した方がよいし、近い地区は個別の方がよい感じを受けます。今年度、約半年間の試行期間を設けましたが、個々の安全意識向上という目的については、十分な成果が感じられました。３月から集団登校に戻し、新1年生が加わる4月からは新しいグループでの集団登校となりますが、現在回収中の保護者アンケートの結果も参考にし、来年度の個別登校の実施について判断していきたいと思います。
- ✎ 運動会では全体としての勝ち負けはありませんが、徒競走やリレーなどの順位はつきます。持久走大会での順位については、タイムよりも順位に目標をもっている子どもが多いため、順位をなくすことについては簡単にできることではないと考えます。また、ストップウォッチでの記録（タイム）確認のため、形式的に順位は必要となることもご理解ください。
- ✎ 担任の負担を減らす目的で、昨年度からスクールサポートスタッフが配置されています。さらに負担軽減の必要性が生じるようでしたら、保護者ボランティアの募集も考えていきたいと思います。
- ✎ 地域の方へのあいさつや地域行事への参加など、子どもたちが「すすんでやる子」となれるように学校と家庭との連携により働き掛けをしていきたいと思います。

④教職員への意見等

- ✎ 学校での様子があまりよくわからならないので、もう少し教えてほしい。
- ✎ 普段の学校での様子やよいところを学級通信として知らせていただきありがたい。
- ✎ 先生のことをとても信頼しているようなので、学校に対する安心感はあり感謝している。
- ✎ 先生が忙しい中で、家庭学習カードに子どもの様子を書いていただき感謝している。
- ✎ 大人が思っている以上に、子どもは大人を見ていると感じることがある。教師の話を聞いていないようでよく覚えている。何気ない一言が子どもにとって心の傷となっていることがあるので、自分自身も声かけの仕方に心配りをしていきたい。子どもたちにも相手の気持ちになって考えられるような働き掛けをしていただきたい。
- ✎ いろいろなところで先生方の配慮が感じられ安心して通わせられる。
- ✎ 先生方も地域の方々も子供たちをよく見てくださるので、通学も含め安心して学校に通わせることができるのでありがたい。

- ✎ 学校での様子を学級・学年便りや家庭学習カードを通してできるだけ伝えられるように努力をしていますが、どの保護者の方の期待に応え、満足していただくことは難しいことだと思っています。もちろん今後もその努力は継続していきますが、お子さんとの会話や対話によって、学校での様子を知ることもできると思いますので、ご家庭でそのような機会が増えていくことも願っています。
- ✎ 学校に対する安心と信頼が何よりも大切だと感じております。今回のアンケートでそのような声を挙げていただき私たちも自信と誇りをもって職務に専念することができます。これからも皆様の信頼がさらに増えていくように真摯に取り組んでいきたいと思います。

後期学校アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度も残り少なくなる中で、来年度の教育活動につながる貴重なご意見をいただくことができました。小学校においては、令和２年度より新しい学習指導要領（国が定めた教育に関する基準）が完全実施となります。教科書が新しくなり、英語教育、プログラミング教育、キャリア教育など、時代の流れに沿った新しい教育が本格的に始まります。教育とは何かと問われたら、迷わず「個性を伸長し、社会が必要とする人材を育成すること」と答えます。そのためには、本校の児童の課題が何であるか、どんな資質・能力を伸ばしていったらよいか実態を的確にとらえ、家庭・地域と連携しながらよりよい教育を進めていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。